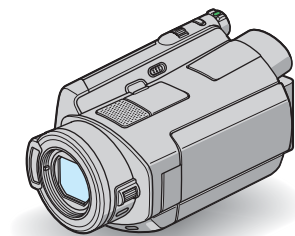
SONY®

3-210-378-01(1)

デジタルHDビデオカメラレコーダー

HANDYCAM®

取扱説明書

HDR-SR7/SR8

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

「ハンディカム ハンドブック」(PDF)もあわせてご覧ください

付属のCD-ROMに収録されている「ハンディカム ハンドブック」では、本機の詳細な活用方法を説明しています。

⚠警告 安全のために

→37～39ページも
あわせてお読みください。

誤った使いかたをしたときに生じる**感電や傷害など人への危害**、また**火災などの財産への損害**を未然に防止するため、次のことを必ずお守りください。

「安全のために」の注意事項を守る

定期的に点検する

1年に1度は、電源コードに傷がないか、電源プラグ部とコンセントの間にほこりがたまっていないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

カメラや充電器などの動作がおかしくなったり、破損していることに気がついたら、すぐにテクニカルインフォメーションセンターへご相談ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら煙が出たら ➡

1. **電源を切る**
2. **電池をはずす**
3. **テクニカルインフォメーションセンターに連絡する**

裏表紙に**テクニカルインフォメーションセンターの連絡先**があります。

⚠危険 万一、電池の液漏れが起きたら

1. **すぐに火気から遠ざけてください。漏れた液や気体に引火して発火、破裂のおそれがあります。**
2. **液が目に入った場合は、こすらず、すぐに水道水などきれいな水で充分に洗ったあと、医師の治療を受けてください。**
3. **液を口に入れたり、なめた場合は、すぐに水道水で口を洗浄し、医師に相談してください。**
4. **液が身体や衣服についたときは、水でよく洗い流してください。**

警告表示の意味

この取扱説明書や製品では、次のような表示をしています。

⚠危険

この表示のある事項を守らないと、極めて危険な状況が起こり、その結果大けがや死亡にいたる危害が発生します。

⚠警告

この表示のある事項を守らないと、思わぬ危険な状況が起こり、その結果大けがや死亡にいたる危害が発生することがあります。

⚠注意

この表示のある事項を守らないと、思わぬ危険な状況が起こり、けがや財産に損害を与えることがあります。

注意を促す記号

火災

感電

行為を禁止する記号

禁止

分解禁止

ぬれ手禁止

行為を指示する記号

プラグをコンセントから抜く

指示

電池について

「安全のために」の文中の「電池」とは、バッテリーパックも含みます。

使用前に必ずお読みください

- 本機は防じん、防滴、防水仕様ではありません。「取り扱い上のご注意」をご覧ください(32ページ)。
- 本機の🎞(動画)ランプ/📷(静止画)ランプ(8ページ)やアクセスランプ*が点灯中に次のことをすると、ハードディスクが壊れたり、記録した映像が失われる場合があります。
  – 本機からバッテリーやACアダプターを取りはずす
  – 本機に衝撃や振動を与える
- 本機をケーブル類で他機と接続するときは、端子の向きを確認してつないでください。無理に押し込むと端子部の破損、または本機の故障の原因になります。

録画/録音に際してのご注意

- 事前にためし撮りをして、正常な録画/録音を確認してください。
- 万一、ビデオカメラレコーダーや記録メディアなどの不具合により記録や再生がされなかった場合、画像や音声などの記録内容の補償については、ご容赦ください。
- あなたがビデオで録画/録音したものは個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興業、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的があっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

撮影した画像データは保存してください

- 万一のデータ破損に備えて、撮影した画像データを保存してください。画像データはパソコンを使ってDVD-Rなどのディスクに保存することをおすすめします*。ビデオ、DVD/HDDレコーダーで画像データを保存することもできます*。
- 撮影後は定期的に保存することをおすすめします。

本機に振動や衝撃を与えないでください

- 本機のハードディスクが認識されなくなったり、記録や再生ができなくなることがあります。

落下検出について

- 落下による衝撃から内蔵ハードディスクを保護するため、本機は[落下検出]機能*を搭載しています。そのため、本機が落下状態になったり、無重力状態になると、ハードディスク保護のための動作音が録音されることがあります。また、繰り返し落下状態を検出した場合は、撮影や再生が停止することがあります。

本機の温度に関するご注意

- 本機の温度が高すぎたり、低すぎたりすると、カメラを保護するために撮影や再生ができなくなることがあります。この場合は、本機の液晶画面およびファインダーに警告表示が表示されます(30ページ)。

パソコンと接続したときのご注意

- パソコンから本機のハードディスクをフォーマットしないでください。正常に動作しなくなります。

高地などでの使用に関するご注意

- 気圧の低い場所(海抜3,000メートル以上)では本機の電源を入れないでください。ハードディスクを破損するおそれがあります。

本機の廃棄/譲渡に関するご注意

- 本機で[⊖初期化]*やフォーマットを行っても、ハードディスク内のデータは完全には消去されないことがあります。本機を譲渡するときは[⊖データ消去]*を行って、ハードディスク内のデータの復元を困難にすることをおすすめします。本機を廃棄するときは、本機を物理的に破壊することをおすすめします。

本書について

- 画像の例としてスチルカメラによる写真を使っています。画像や本機の画面表示は、実際に見えるものと異なります。
- 特に機種別の説明が必要なところを除き、本書のイラストはHDR-SR7をモデルにしています。
- 記録メディアやアクセサリーの仕様および外観は、予告なく変更することがあります。
- 本書の説明に使用しているパソコンの画面は、Windows XPのものです。お使いのOSによって画面表示は異なります。

* 「ハンディカム ハンドブック」(PDF)や「Picture Motion Browser ガイド」をご覧ください。

目次

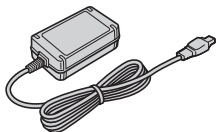
商標について

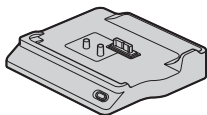
- "ハンディカム"、HANDYCAMは ソニー株式会社の登録商標です。
- AVCHDおよびAVCHDロゴは、ソニー株式会社と松下電器産業株式会社の商標です。
- "Memory Stick"、"メモリースティック"、MEMORY STICK、"メモリースティック デュオ"、MEMORY STICK DUO、"メモリースティック PRO デュオ"、MEMORY STICK PRO DUO、"メモリースティック マイクロ"、"マジックゲート"、MAGICGATE、"MagicGate Memory Stick"、"マジックゲート メモリースティック"、"MagicGate Memory Stick Duo"、"マジックゲート メモリースティック デュオ"は ソニー株式会社の商標です。
- InfoLITHIUM（インフォリチウム）はソニー株式会社の商標です。
- "x.v.Color" はソニー株式会社の商標です。
- Dolby、ドルビー、およびダブルD記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。
- ドルビーデジタル5.1クリエーターはドルビーラボラトリーズの商標です。
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLC の商標または登録商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Media、Windows Vista、DirectXはMicrosoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Macintosh、Mac OSはApple Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。
- Intel、Intel Core、Pentiumは、アメリカ合衆国およびその他の国におけるインテル コーポレーションまたはその子会社の商標または登録商標です。
- Adobe、Adobe logo、Adobe Acrobatは、Adobe Systems Incorporatedの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

その他の各社名および各商品名は各社の登録商標または商標です。なお、本文中では、TM、®マークは明記していません。

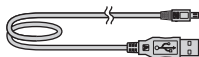
準備1：付属品を確かめる

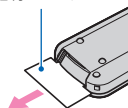
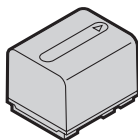
箱を開けたら、付属品がそろっているか確認してください。万一、不足の場合はお買い上げ店にご相談ください。
（　）内は個数。

ACアダプター（1）（6ページ）

電源コード（1）（6ページ）

ハンディカムステーション（1）（6ページ）

D端子コンポーネントビデオケーブル（1）（13ページ）

AV接続ケーブル（1）（13ページ）

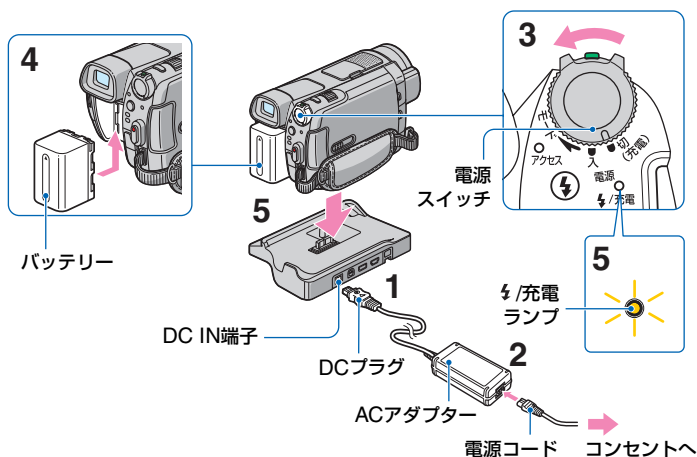
USBケーブル（1）（27ページ）

ワイヤレスリモコン（1）

ボタン型リチウム電池があらかじめ取り付けられています。
絶縁シートを引き抜いてからリモコンを使ってください。

リチャージャブルバッテリーパック NP-FH60（1）（6ページ）

CD-ROM「Handycam Application Software」（1）（23ページ）

– 「Picture Motion Browser」（ソフトウェア）
– 「Picture Motion Browser ガイド」
– 「ハンディカム ハンドブック」（PDF）

取扱説明書 <本書>（1）

保証書（1）

準備2:バッテリーを充電する

専用の"インフォリチウム"バッテリー(Hシリーズ)を本機に取り付けて充電します。

ご注意
- "インフォリチウム"バッテリーHシリーズ以外は使えません。

1 DCプラグの▲マークを上にして、ハンディカムステーションのDC IN端子につなぐ。

2 電源コードをACアダプターとコンセントにつなぐ。

3 電源スイッチを「切(充電)」(お買い上げ時の設定)にする。

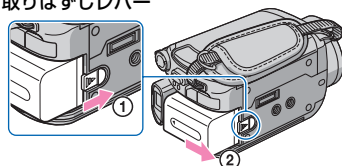
4 バッテリーを「カチッ」というまで矢印の方向にずらして取り付ける。

5 本機をハンディカムステーションに図の向きで奥まで確実に取り付ける。

/充電ランプが点灯し、充電が始まります。
/充電ランプが消え、充電が終わったら(満充電)、本機をハンディカムステーションから取りはずす。

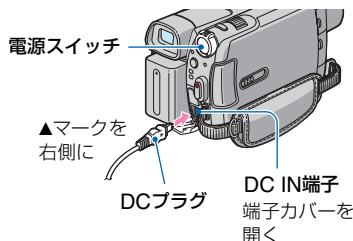
バッテリーを取りはずすには

電源スイッチを「切(充電)」にする。BATT(バッテリー)取りはずしレバーをずらしながら、バッテリーを取りはずす。

BATT(バッテリー)
取りはずしレバー

ご注意

- バッテリーやACアダプターは、本機の🎞(動画)ランプ/📷(静止画)ランプ(8ページ)が点灯していないことを確認してから取りはずしてください。

ACアダプターのみで充電するには

電源スイッチを「切(充電)」にした状態で、本機のDC IN端子に直接ACアダプターをつないで充電する。

付属バッテリーでの充電/撮影/再生時間

充電時間:バッテリーを使い切った状態からのおよその時間

撮影/再生時間:満充電からのおよその時間

「HD」はハイビジョン画質、「SD」は標準画質を表しています。

NP-FH60: (単位:分)

		HDR-SR7/SR8	
		HD	SD
充電時間(満充電)		135	
撮影可能時間*1			
	連続撮影時	90	100
		90	105
		90	105
	実撮影時*2	45	50
		45	50
		45	50

	HDR-SR7/SR8	
	HD	SD
再生可能時間*3	140	160

*1 それぞれの時間は、録画モードが「SP」、[インデックス設定]が[切]で、次の条件によるものです。

上段:液晶画面バックライトが[入]のとき

中段:液晶画面バックライトが[切]のとき

下段:液晶画面を閉じてファインダーを使用時

*2 実撮影時とは、録画スタンバイ、電源スイッチの切り換え、ズームなどを繰り返したときの時間です。

*3 液晶画面バックライトが[入]のとき。

バッテリーについて

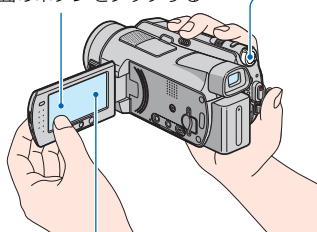
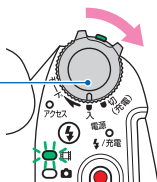
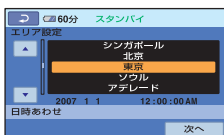
- バッテリーの交換は、電源スイッチを「切(充電)」にして🎞(動画)ランプ/📷(静止画)ランプ(8ページ)が消えてから行ってください。
- 電源コードをコンセントから抜いても、ACアダプターが本機やハンディカムステーションのDC IN端子につながれている限り、バッテリーからは電源供給されません。

充電/撮影/再生可能時間について

- 25℃(10〜30℃が推奨)で使用したときの時間です。
- 低温の場所で使うと、撮影/再生可能時間はそれぞれ短くなります。
- 使用状態によって、撮影/再生可能時間が短くなります。

ACアダプターについて

- ACアダプターは手近なコンセントを使用してください。本機を使用中、不具合が生じたときはすぐにコンセントからプラグを抜き、電源を遮断してください。
- ACアダプターを壁との隙間などの狭い場所に設置して使用しないでください。
- ACアダプターのDCプラグやバッテリー端子を金属類でショートさせないでください。故障の原因になります。

準備3：電源を入れて日付/時刻を合わせる

初めて電源を入れたときは、液晶画面に自動的に[日時あわせ]画面が表示されます。

1 緑のボタンを押しながら、電源スイッチを矢印の方向に繰り返しずらして、使用するモードのランプを点灯させる。

(動画)：動画を撮影するとき

(静止画)：静止画を撮影するとき

- (静止画)ランプを点灯させると、画像の比率が自動的に4:3に切り替わります。

2 ▲/▼でエリアを選び、[次へ]をタッチする。

3 同様にサマータイム、[年]、[月]、[日]、時、分を設定して、OKをタッチする。

時計が動き始めます。

ちょっと一言

- 本機で[サマータイム]を[入]にすると、時計が1時間進みます。
- 日付時刻は撮影時には表示されません。自動的にハードディスクに記録され、再生時に表示させることができます。
- (ホーム)→(設定)→[音/画面設定]→[操作音]で[切]にすると、タッチなどによる操作音を消すことができます。

日付時刻を設定し直すときは

(ホーム)→(設定)→[時計設定]→[日時あわせ]で設定する。

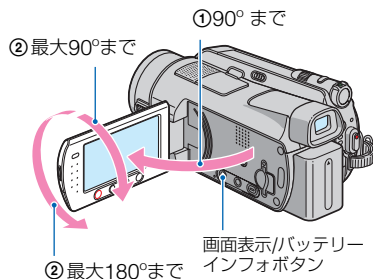
準備4：撮影前の調整をする

液晶画面を見やすく調節する。

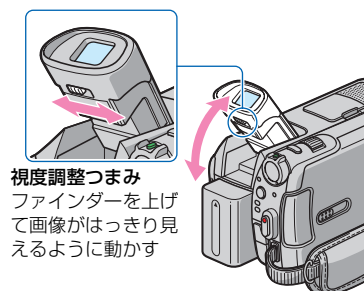
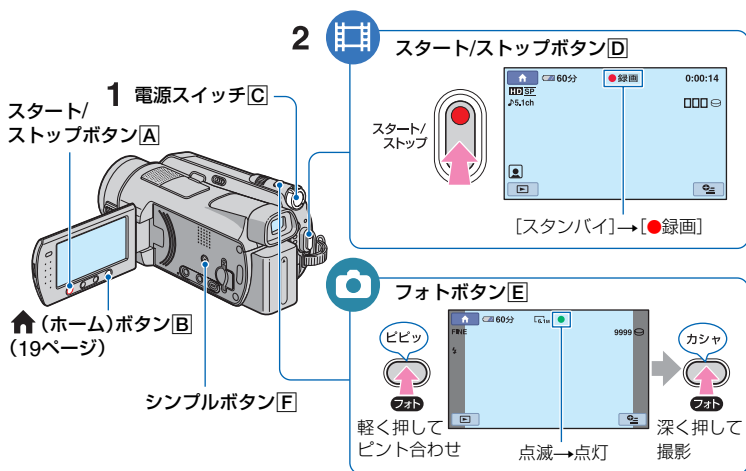
液晶画面を90°まで開き（①）、見やすい角度に調節する（②）。

ファインダーを見やすく調節する

バッテリー切れが心配なときや、液晶画面で画像を見づらいときなどは、液晶画面を閉じて、ファインダーで画像を見ることもできます。

視度調整つまみ
ファインダーを上げて画像がはっきり見えるように動かす

ベルトの締めかた

グリップベルトを図の順番にしっかりと締め、正しく構える。

撮る

1 電源スイッチCをずらして、使用するモードのランプを点灯させる。

「切(充電)」から電源を入れるときは、緑のボタンを押しながらずらす。

- **(動画)**：動画を撮影するとき
- **(静止画)**：静止画を撮影するとき

2 撮影を始める。

動画を撮る

スタート/ストップボタンA(または D)を押す。

撮影をやめるときは、もう一度押す。

- 動画は"メモリースティック デュオ"には記録できません。
- SD(標準)画質への切り換えは「ハンディカム ハンドブック」(PDF)をご覧ください。

静止画を撮る

フォトボタンEを押す。

/ の横に IIIIIII が表示されます。
IIIIIII が消えると記録されます。

- お買い上げ時はハードディスクに記録されるように設定されています。

ご注意

- 撮影終了後、アクセスランプ点灯中、または点滅中は、撮影したデータを記録メディアに書き込み中です。本機に衝撃や振動を与えたり、バッテリーやACアダプターを取りはずしたりしないでください。

ちょっと一言

- ハードディスクの残量を確認するには、（ホーム）B→（HDD/メモリー管理）→[情報]をタッチします。
- 動画撮影中も、フォトボタンEを押すと3枚まで静止画を撮影できます。
- 動画の連続撮影可能時間は約13時間です。
- 動画のファイルサイズが2GBを超えると、自動的に次のファイルが生成されます。
- 本機のハードディスクに[HD SP]画質で以下の時間撮影できます。

  HDR-SR7: 約17時間50分

  HDR-SR8: 約30時間
- 付属アプリケーションソフトを使うと、撮影した動画を静止画として取り込むことができます。詳しくは、付属のCD-ROM収録の「Picture Motion Browser ガイド」をご覧ください。

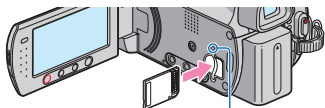
静止画を"メモリースティック デュオ"に記録するには

静止画の記録先を"メモリースティック デュオ"に変更することができます。

MEMORY STICK DUO、

MEMORY STICK PRO DUO マーク付き"メモリースティック デュオ"のみ使えます。

■ "メモリースティック デュオ"を入れる/取り出す

液晶画面を開き、"メモリースティック デュオ"を正しい向きに、「カチッ」というまで押し込みます。

アクセスランプ（"メモリースティック デュオ"）

取り出すには、液晶画面を開き、"メモリースティックデュオ"を軽く1回押して取り出します。

ご注意

- アクセスランプの点灯中や点滅中は、データの読み込みや書き込みを行っています。本機に振動や強い衝撃を与えないでください。また、電源を切ったり、"メモリースティック デュオ"やバッテリーを取りはずしたりしないでください。画像データが壊れることがあります。
- 誤った向きで無理に入れると、"メモリースティック デュオ"やメモリースティック デュオ スロット、画像データが破損することがあります。

ちょっと一言

- "メモリースティック デュオ"（1GB）の撮影可能枚数は、315枚です（画像サイズが[6.1M]で、画質が[ファイン]（お買い上げ時の設定）のとき）。

  上記は、ソニー製"メモリースティック デュオ"を使用したときの枚数です。撮影環境や記録メディアによって撮影可能枚数が異なる場合があります。
- "メモリースティック デュオ"の撮影可能枚数について、詳しくは「ハンディカム ハンドブック」（PDF）をご覧ください。

■ 静止画の記録先を変更するときは

① 撮影画面で、（オプション）→タブ→[静止画記録先]をタッチする。

② 静止画を記録するメディアを選び、OKをタッチする。

撮影画面に戻ります。

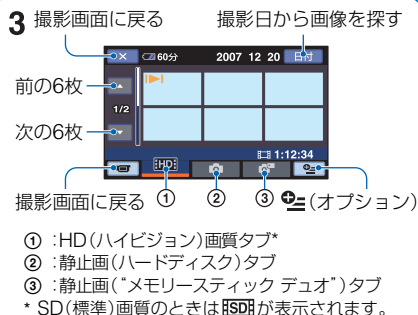
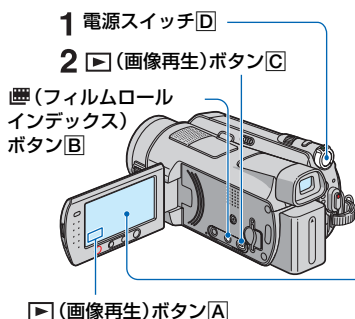
簡単に撮影/再生するには

シンプルボタンFを押すと、ほとんどの設定を自動化するので、簡単に撮影/再生できます。シンプル操作中は、液晶画面にシンプルが表示されます。シンプル操作を終了するには、もう一度シンプルボタンFを押します。

ご注意

- シンプル操作中は操作できないボタン/機能があります。

撮る/見る

見る

1 電源スイッチDをずらして本機の電源を入れる。

2 (画像再生)ボタンC(またはA)を押す。

ビジュアルインデックス画面が表示されます(数秒かかります)。

- (フィルムロールインデックス)ボタンBを押すと、フィルムロールインデックス画面が表示されます。詳しくは、「ハンディカム ハンドブック」(PDF)をご覧ください。

3 再生を始める。

動画を見る

HD、または SD タブをタッチして、見たい画像をタッチする。

静止画を見る

、または タブをタッチして、見たい画像をタッチする。

動画の音量を調節するには

動画を再生中に（オプション）→ タブ→[音量]をタッチし、[－]/[＋]をタッチして調節する。

ちょっと一言

- 選んだ動画から最後の動画まで再生されると、インデックス画面に戻ります。
- それぞれのタブで最後に再生/撮影した画像に ▶I が表示されます（"メモリースティック デュオ"の静止画は▶）。タッチすると、前回途中で止めた位置から再生できます。

テレビにつないで見る

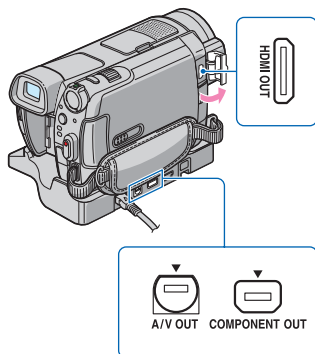
テレビの種類や接続する端子によって接続方法やテレビに映る画質（HD（ハイビジョン）/SD（標準））が異なります。
電源は、付属のACアダプターを使ってコンセントからとってください（6ページ）。
また、つなぐ機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

ご注意

- x.v.Colorに対応したテレビで見るときは、あらかじめ[X.V.COLOR]を[入]にして撮影してください。再生時にはテレビ側の設定が必要になる場合があります。詳しくはテレビの取扱説明書をご確認ください。

操作の流れ

テレビの入力設定を切り換える。
詳しくは、つなぐ機器の取扱説明書をご覧ください。
↓
[テレビ接続ガイド]に従って、本機とテレビを接続する。
（ホーム）→（その他の機能）→[テレビ接続ガイド]で、[テレビ接続ガイド]を使用できます。
↓
必要な出力設定を行う。

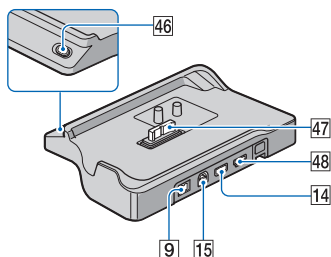
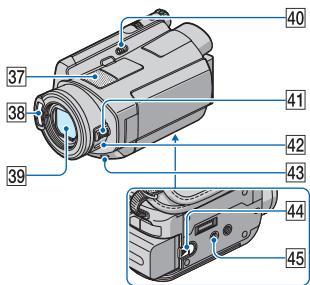
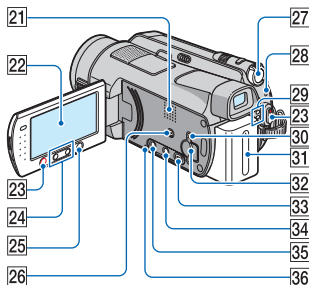
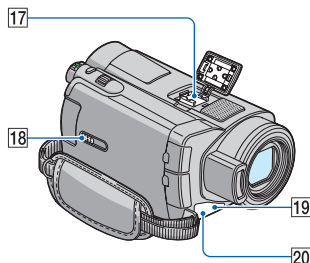
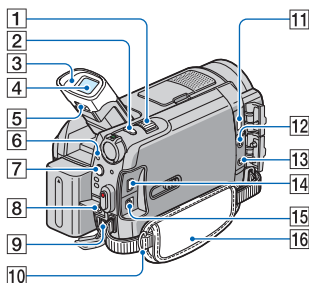
本機の端子については端子カバーを開いてケーブルをつなぐ。

ご注意

- AV接続ケーブルを使って映像を出力すると、出力される画質はSD（標準）になります。
- A/V OUT端子とCOMPONENT OUT端子はハンディカムステーションおよび本機にそれぞれ装備しています（14ページ）。AV接続ケーブルやD端子コンポーネントビデオケーブルは、ハンディカムステーション、または本機のどちらか一方に接続してください。同時につなぐと画像が乱れることがあります。

接続方法やビデオ、DVD/HDDレコーダーに撮影した画像をダビングする方法については、「ハンディカム ハンドブック」（PDF）をご覧ください。

撮る/見る

本体各部の名前と役割

（　）内は参照ページです。

ハンディカムステーション

1 ズームレバー
軽く動かすとゆっくり、さらに動かすと速くズームします。静止画を1.1～5倍の範囲でズーム（再生ズーム）できます。

- 再生ズーム中に画面をタッチすると、タッチした部分が液晶画面中央に表示されます。

2 フォトボタン（10）

3 アイカップ

4 ファインダー（9）

5 視度調整つまみ（9）

6 アクセスランプ（ハードディスク）
点灯中や点滅中は、データの読み込み/書き込みを行っています。

7 (フラッシュ)ボタン
押すと、フラッシュの設定が切り替わります。

8 REMOTE端子
別売りのアクセサリーを接続します。

9 DC IN端子

10 ショルダーベルト取り付け部
ショルダーベルト(別売り)を取り付けます。

11 HDMI OUT(ミニ)端子
HDMIケーブル(別売り)をつなぎます。

12 MIC(PLUG IN POWER)端子
外部マイクをつなぐと、その音声が内蔵マイクよりも優先されます(16ページ)。

13 (ヘッドフォン)端子

14 COMPONENT OUT端子
D端子コンポーネントビデオケーブルをつなぎます。

15 A/V OUT端子
AV接続ケーブルをつなぎます。

16 グリップベルト(9)

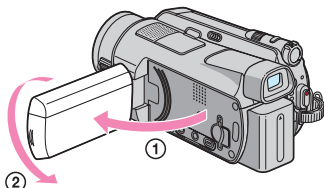
17 アクティブインターフェースシュー
Active Interface Shoe
専用マイクやフラッシュ(別売り)などを使うときに、本機から電源供給し、本機の電源スイッチに連動して接続機器の電源の入/切ができます。

18 端子カバー開閉つまみ

19 リモコン受光部/赤外線発光部
リモコンからの信号を受けます。

20 録画ランプ
録画時に赤く点灯します。
ハードディスクやバッテリーの残量が少なくなると点滅します。

21 スピーカー
再生時の音声を聞くことができます。

22 液晶画面/タッチパネル
90°まで開いてから(①)、レンズ側に180°回して(②)、自分撮り(対面撮影)できます。

23 スタート/ストップボタン(10)

24 ズームボタン
押すとズームします。
静止画を1.1~5倍の範囲でズーム(再生ズーム)できます。

- 再生ズーム中に画面をタッチすると、タッチした部分が液晶画面中央に表示されます。

25 (ホーム)ボタン(19)

26 シンプルボタン(11)

27 電源スイッチ(8)

28 /充電ランプ
バッテリーの充電中に点灯します。
また、フラッシュ充電中に点滅し、充電が完了すると点灯に変わります。

29 (動画)/ (静止画)ランプ(8)

30 アクセスランプ(“メモリースティック デュオ”)
点灯中や点滅中は、データの読み込み/書き込みを行っています。

31 バッテリーパック

32 メモリースティック デュオ スロット

33 (画像再生)ボタン(12)

34 (フィルムロールインデックス)ボタン(12)

35 画面表示/バッテリーインフォボタン
電源が入っているときに押すと画面表示を切り換えられます。
電源スイッチが「切（充電）」のときに押すと、バッテリー残量を確認できます。

36 RESET（リセット）ボタン
押すと、日時を含めすべての設定が解除されます。

37 内蔵マイク
音声を記録します。
取り込んだ音を5.1chサラウンド音声に変換して記録します。

38 フラッシュ発光部
フラッシュ撮影時に発光します。

39 レンズ（カールツァイスレンズ搭載）

40 NIGHTSHOTスイッチ
[入]にすると、暗い場所で撮影できます（ が表示されます）。

41 カメラコントロールダイヤル
よく使うメニュー項目を割り当てられます。

42 マニュアルボタン
数秒間押し続けると[ダイヤル設定]画面が表示されます。

43 逆光補正ボタン
押すと が表示され、逆光を補正します。
解除するにはもう1度押します。

44 BATT（バッテリー取りはずし）レバー（6）

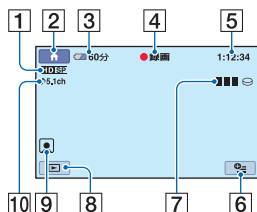
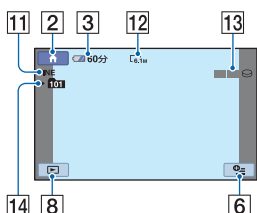
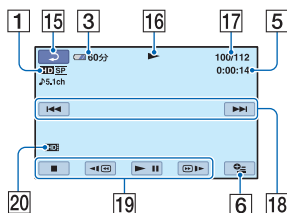
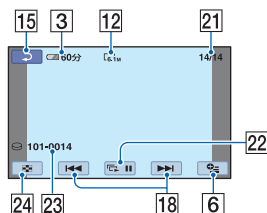
45 三脚用ネジ穴（本体底面）
三脚（別売り、ネジの長さが5.5mm以下）を取り付けられます。

46 ワンタッチ ディスクボタン
パソコンとつないでディスクを作成します。詳しくは「Picture Motion Browser ガイド」をご覧ください。

47 インターフェースコネクタ

48 (USB)端子
USBケーブルをつなぎます。

画面表示

動画を撮影中

静止画を撮影中

動画を再生中

静止画を再生中

1 記録画質（HD/SD）と録画モード（XP/HQ/SP/LP）

2 ホームボタン

3 バッテリー残量の目安

4 撮影状態（[スタンバイ]/[●録画]）

5 カウンター（時：分：秒）

6 オプションボタン

7 デュアル記録

8 画像再生ボタン

9 フェイスインデックス設定

10 5.1chサラウンド記録

11 画質（[FINE]/[STD]）

12 画像サイズ

13 静止画記録中

14 記録フォルダ
静止画の記録先が"メモリースティック デュオ"のときのみ表示されます。

ちょっと一言

- "メモリースティック デュオ"に記録した静止画の枚数が多くなると、自動的に新しいフォルダを作成し画像を保存します。
- デュアル記録時には、動画と静止画の撮影画面表示が同時に現れます。表示される位置は、通常操作の画面表示とは若干異なります。

15 戻るボタン

16 再生表示

17 再生中の動画の番号/記録している動画の数

18 前の画像/次の画像ボタン

19 動画操作ボタン

20 再生中の動画の画質

21 再生中の静止画の番号/記録している静止画の数

22 スライドショーボタン

23 データファイル名

24 ビジュアルインデックス表示ボタン

液晶画面とファインダーの表示

撮影/再生中や、設定を変更したときに次の表示が出ます。

画面左上

表示	意味
♪5.1ch	5.1chサラウンド記録/再生
	セルフタイマー
	フラッシュ/赤目軽減
	マイク基準レベル低
4:3	ワイド切換

画面中央

表示	意味
	スライドショー設定
	NightShot
S	Super NightShot
	Color Slow Shutter
	PictBridge接続中
	警告

画面右上

表示	意味
ホワイト フェーダー　ブラック フェーダー	フェーダー
OFF	液晶バックライト切
OFF	落下検出切
	落下検出中

画面下

表示	意味
P	ピクチャーエフェクト
D	デジタルエフェクト
	手動フォーカス
	シーンセレクション
	逆光補正
	ホワイトバランス
OFF	手ブレ補正
	フレキシブルスポット測光/カメラ明るさ
AS	AEシフト
WS	WBシフト
T	テレマクロ
	ゼブラ
(COLOR)	X.V.COLOR
	フェイスインデックス設定

ご注意

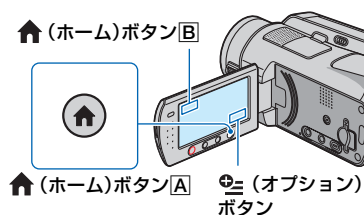
- 撮影時の日付時刻と撮影条件を示したカメラデータが、自動的に記録されます。
  これらのデータは、撮影中には表示されませんが、再生時に日付時刻/カメラデータとして確認できます。

多彩な機能を使いこなす-「ホーム」と「オプション」

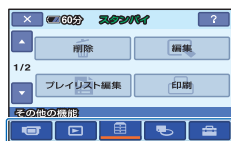
- 灰色で表示されるメニュー項目などは、その撮影/再生条件では使えません(同時に選べません)。

ホームメニューの各項目の説明を見るには(ヘルプ)

① (ホーム)ボタンA(またはB)を押す。
② ?(ヘルプ)をタッチする。
?(ヘルプ)の下辺がオレンジ色に変わります。

③ 内容を知りたい項目をタッチする。
タッチした項目の説明が表示されます。
その項目を実行するには[はい]をタッチする。

ホームメニューの使いかた

(ホーム)ボタンから、本機のさまざまな設定を変更できます。詳しくは「ハンディカム ハンドブック」(PDF)をご覧ください。

1 **本機の電源を入れ、(ホーム)ボタンA(またはB)を押す。**

カテゴリー

2 **希望のカテゴリーをタッチする。**

3 **希望の項目をタッチする。**

4 **本機の表示に従って設定する。**

ちょっと一言
- 希望の項目が画面にないときは、▲/▼をタッチして、表示させます。
- ホームメニュー画面を消すには、×をタッチします。

オプションメニューの使いかた

パソコンの右クリックのような役割が(オプション)メニューです。そのときに設定できるさまざまな機能が表示されます。詳しくは「ハンディカム ハンドブック」(PDF)をご覧ください。

1 **本機を使用中に、画面の(オプション)ボタンをタッチする。**

2 **希望の項目をタッチする。**

3 **希望の設定にして、OKをタッチする。**

ご注意

- 希望の項目が画面にないときは、他のタブをタッチしてください。それでも見つからないときは、その機能は使えない状態になっています。
- 表示されるタブや項目は、撮影、再生時の本機の状態によって変わります。
- タブが表示されない場合もあります。
- シンプル操作中は(オプション)メニューは使えません(11ページ)。

ホームメニュー一覧

(撮影)カテゴリー

動画*
静止画*
なめらかスロー録画

(画像再生)カテゴリー

V.インデックス*
インデックス*
インデックス*
プレイリスト

(その他の機能)カテゴリー

削除*
[削除]、[削除]
編集
[削除]、[削除]、[分割]、[コピー]
プレイリスト編集
[HD 追加]、[SD 追加]、[HD 日付指定追加]、[SD 日付指定追加]、[HD 消去]、[SD 消去]、[HD 全消去]、[SD 全消去]、[HD 移動]、[SD 移動]
印刷
[印刷]、[印刷]
パソコン接続
[パソコン接続]、[パソコン接続]、[ワンタッチ ディスク]
テレビ接続ガイド*

(HDD/メモリー管理)カテゴリー

初期化*
初期化*
情報
管理ファイル修復

(設定)カテゴリー

動画撮影設定
[HD/SD 録画設定]*、[HD 録画モード]、[SD 録画モード]、[AEシフト]、[WBシフト]、[NIGHTSHOT ライト]、[ワイド切換]、[デジタルズーム]、[手ブレ補正]、[オートスロシャッタ]、[X.V.COLOR]、[ガイドフレーム]、[ゼブラ]、[残量表示]、[フラッシュレベル]、[赤目軽減]、[ダイヤル設定]、[インデックス設定]*
静止画撮影設定
[画像サイズ]*、[画質]、[ファイルナンバー]、[AEシフト]、[WBシフト]、[NIGHTSHOT ライト]、[手ブレ補正]、[ガイドフレーム]、[ゼブラ]、[フラッシュレベル]、[赤目軽減]、[ダイヤル設定]、[静止画記録先]*
画像再生設定
[HD/SD 表示設定]*、[日時/データ表示]、[表示枚数]、[間隔設定]*
音/画面設定**
[音量]*、[操作音]*、[パネル明るさ]、[パネルBLレベル]、[パネル色の濃さ]、[VFバックライト]
出力設定
[TVタイプ]、[画面表示出力]、[コンポーネント出力]
時計設定
[日時あわせ]*、[エリア設定]、[サマータイム]
一般設定
[デモモード]、[録画ランプ]、[キャリブレーション]、[自動電源オフ]、[リモコン]、[落下検出]

* シンプル操作(11ページ)中も設定できます。
** シンプル操作(11ページ)中は[音設定]になります。

オプションメニュー一覧

下記は、オプションメニューからのみ設定できる項目です。

タブ

[フォーカス]、[スポットフォーカス]、[テレマクロ]、[カメラ明るさ]、[スポット測光]、[シーンセレクション]、[ホワイトバランス]、[COLOR SLOW SHTR]、[SUPER NIGHTSHOT]

タブ

[フェーダー]、[デジタルエフェクト]、[P.エフェクト]

タブ

[マイク基準レベル]、[セルフタイマー]、[タイミング]、[音声記録]

--(状況によってタブが変わる/タブなし)

[スライドショー]、[スライドショー設定]、[印刷部数]、[日付/時刻]、[用紙サイズ]

画像を保存する

内蔵ハードディスクの容量には限りがあるため、DVD-Rなどのディスクやパソコンに撮影した画像データを保存してください。
本機で撮影した画像は、以下の方法で保存(バックアップ)できます。

パソコンを使って、画像を保存する

付属のCD-ROM収録の「Picture Motion Browser」を使って、本機で撮影した画像を保存できます。詳しくは「Picture Motion Browser ガイド」をご覧ください。

ワンタッチでディスクを作成する(ワンタッチ ディスク)

本機で撮影した画像を、簡単操作でそのままディスクに保存できます。

画像をパソコンに保存する(かんたんPCバックアップ)

本機で撮影した画像をパソコンのハードディスクに保存します。

画像を選んでディスクを作成する

パソコンに取り込んだ画像を選んで、ディスクに保存できます。また、パソコンで画像の編集もできます。

本機を他の機器につないで画像を保存する

ビデオ、DVD/HDDレコーダーにダビングできます。詳しくは「ハンディカム ハンドブック」(PDF)をご覧ください。

画像を削除する

ハードディスクの画像を削除する

1 **(ホーム)→(その他の機能)→[削除]をタッチする。**

2 **[削除]をタッチする。**

3 **削除したい画像が動画の場合は[HD削除]、または[SD削除]を、静止画の場合は[削除]をタッチし、削除したい画像をタッチする。**

選んだ画像に✓が表示されます。

4 **OK→[はい]→OKをタッチする。**

すべての動画または静止画を一括して削除するには

手順**3**で[HD全削除]/[SD全削除]/[全削除]→[はい]→[はい]→OKをタッチする。

“メモリースティック デュオ”の静止画を削除するには

① 手順**2**で[削除]をタッチする。
② [削除]をタッチし、削除したい画像をタッチする。
選んだ画像に✓が表示されます。
③ OK→[はい]→OKをタッチする。

ちょっと一言

- “メモリースティック デュオ”内のすべての静止画を削除するには、手順②で[全削除]→[はい]→[はい]→OKをタッチします。

「ハンディカム ハンドブック」(PDF)を見る

本機の詳しい使いかたについては、「ハンディカム ハンドブック」(PDF)をご覧ください。
ご覧になるにはAdobe Readerが必要です。

Windowsをお使いの場合

1 パソコンの電源を入れる。

2 パソコンのディスクドライブにCD-ROM(付属)をセットする。

インストールの選択画面が表示される。

3 [ハンディカム ハンドブック]をクリックする。

「ハンディカム ハンドブック」(PDF)のインストール画面が表示されます。

4 [日本語]とお使いの機種名を選択し、[ハンディカム ハンドブック(PDF)]をクリックする。

インストールが開始されます。終了すると、デスクトップに「ハンディカム ハンドブック」(PDF)のショートカットが表示されます。

- お使いの機種名は、本機の底面に記載されています。

5 [終了]→[終了]をクリックし、パソコンからCD-ROMを取り出す。

Macintoshをお使いの場合

1 コンピュータの電源を入れる。

2 コンピュータのディスクドライブにCD-ROM(付属)をセットする。

3 CD-ROM内の[Handbook]フォルダから[JP]フォルダを開き、[Handbook.pdf]をコンピュータにドラッグアンドドロップする。

[Handbook.pdf]をダブルクリックすると、ハンドブックをご覧になれます。

Windowsパソコンでできること

付属のCD-ROMからWindowsパソコンに、「Picture Motion Browser」をインストールすると、次のような操作を楽しむことができます。

■ 本機で撮影した画像をワンタッチでディスクに取り込む

ハンディカムステーションのワンタッチディスクボタン（16ページ）を押して、撮影した画像をそのままディスクに保存できます。

■ 本機で撮影した画像をパソコンに取り込む

■ パソコンに取り込んだ画像を見る

■ 取り込んだ画像を編集してディスクを作成する

「Picture Motion Browser」の詳しい機能については、「Picture Motion Browserガイド」をご覧ください。

重要なお知らせ

DVDプレーヤーやDVDレコーダーはAVCHD規格に非対応のため、「Picture Motion Browser」を使用して作成したHD（ハイビジョン）画質のディスクを入れないでください。ディスクの取り出しができなくなることがあります。

> ■ Macintoshをお使いのときは
> 付属のソフトウェア「Picture Motion Browser」はMacintoshに対応していません。
> 本機とMacintoshを接続して画像を扱う詳しい方法については、下記のホームページをご覧ください。
> http://guide.d-imaging.sony.co.jp/mac/ms/jp/

パソコン環境について

■ 「Picture Motion Browser」を使うときのパソコン環境

対応OS: Microsoft Windows 2000 Professional SP4/Windows XP SP2*/Windows Vista*

*64bit版は除きます。

- 上記のOSが工場出荷時にインストールされていることが必要です。
  上記のOS内でもアップグレードした場合やマルチブート環境の場合は、動作保証いたしません。

CPU: Intel Pentium 4 2.8GHz以上（Intel Pentium 4 3.6GHz以上、Intel Pentium D 2.8GHz以上、Intel Core Duo 1.66GHz以上、Intel Core 2 Duo 1.66GHz以上を推奨します。）
ただし、以下の場合については、Pentium III 1GHz以上での動作が可能です。

- コンテンツのPCへの取り込み
- ワンタッチディスク
- AVCHD対応ディスク/DVDビデオ作成
- ディスクのコピー
- SD（標準）画質のコンテンツのみ扱う場合

メモリー: Windows 2000/Windows XP: 512MB以上（1GB以上を推奨します。）
ただし、SD（標準）画質のコンテンツのみを扱う場合は、256MB以上が必要です。
Windows Vista: 1GB以上

ハードディスク: インストールに必要なハードディスク容量: 約800MB（AVCHD対応ディスクを作成する場合には、10GB以上必要になる場合もあります。）

ディスプレイ: DirectX 7以上対応のビデオカード、解像度は1,024×768ドット以上、High Color（16ビット カラー）

その他必要な装置: USB端子標準装備（Hi-Speed USB（USB 2.0準拠）対応を推奨）、DVD作成が可能なディスクドライブ（インストールにはCD-ROMドライブが必要）

ご注意

- 動作保証されているパソコン環境でも、HD（ハイビジョン）画質の画像がコマ落ちしてなめらかに再生できない場合があります。取り込んだ画像や作成するディスクの画質には影響ありません。
- すべてのパソコン環境について動作を保証するものではありません。
  例えば、バックグランドで動作している他のソフトウェアが動作に影響を与える場合があります。
- 「Picture Motion Browser」は5.1ch音声の再生に対応しておりません。2ch音声の再生になります。
- ノートパソコンをご使用の場合、HD（ハイビジョン）画質の再生、編集を行う際は、パソコンをACアダプターにつないでご使用ください。パソコンの省電力機能により、正常に動作しない場合があります。

ソフトウェアをインストールする

本機をパソコンにつなぐ前に、ソフトウェアをインストールします。1度インストールすれば、次回からインストールは不要です。パソコンのOSによってインストールする内容や手順が異なります。

1 パソコンに本機がつながれていないことを確認する。

2 パソコンの電源を入れる。

ご注意

- Administrator権限/コンピュータの管理者でログオンしてください。
- 使用中のアプリケーションは、インストールの前に終了させておいてください。

3 パソコンのディスクドライブにCD-ROM（付属）をセットする。

インストール画面が表示されます。

インストール画面が表示されないときは

❶ [スタート]→[マイコンピュータ]の順にクリックする（Windows 2000の場合は、[マイ コンピュータ]をダブルクリックする）。

❷ [SONYPICTUTIL（E:）]（CD-ROM）*をダブルクリックする。

* ドライブ文字（（E:）など）は、使うパソコンによって異なることがあります。

4 [インストール]をクリックする。

5 [日本語]を選び、[次へ]をクリックする。

6 お住まいの国/地域を確認し、[次へ]をクリックする。

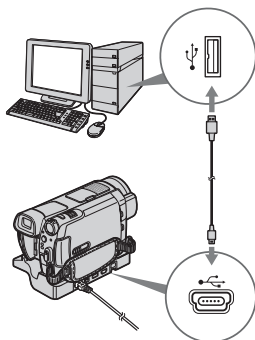
7 [使用許諾契約]の内容をよく読み、同意される場合は[使用許諾契約の全条項に同意します]を選択し、[次へ]をクリックする。

8 以下の手順で本機をパソコンにつなぐ。

❶ ACアダプターをハンディカムステーションとコンセントにつなぐ。

❷ 本機をハンディカムステーションに取り付けて電源を入れる。

❸ USBケーブルでハンディカムステーションの(USB)端子とパソコンのUSB端子をつなぐ。

❹ 本機の画面で[パソコン接続]をタッチする。

9 パソコンの接続確認画面で[次へ]をクリックする。

ご注意

- パソコンの再起動を求める画面が表示されることがありますが、ここではパソコンを再起動する必要はありません。[いいえ]を選んで、インストールを続けてください。
- 認証には時間がかかる場合があります。

10 以降、画面の指示に従ってインストールを進める。

お使いのパソコン環境によっては、以下のソフトウェアのインストール画面が表示される場合があります。画面の指示に従ってインストールしてください。

– i-Jumpエンジン V.3.5
  画像を携帯電話やパソコンに送ることができるソフトウェア
– Sonic UDF Reader*
  AVCHD方式のディスクを認識するために必要なソフトウェア
– Windows Media Format 9 Series Runtime(Windows 2000のみ)
  DVD作成に必要なソフトウェア
– Microsoft .NET Framework 1.1*
  AVCHD作成に必要なソフトウェア
– Microsoft DirectX 9.0c*
  動画を扱うために必要なソフトウェア

* Windows 2000、Windows XPのみ

11 パソコンの再起動を求める画面が表示されたら、画面の指示に従ってパソコンを再起動する。

これでインストールは完了です。

12 パソコンからCD-ROMを取り出す。

「Picture Motion Browser」の操作について

ソフトウェアをインストールすると、パソコンのデスクトップ上には「Picture Motion Browser」と「Picture Motion Browser ガイド」のショートカットアイコンが表示されます。「Picture Motion Browser」の基本的な操作方法は、「Picture Motion Browser ガイド」をご覧ください。

ダブルクリックすると「Picture Motion Browser」が起動します。

ダブルクリックすると「Picture Motion Browser ガイド」を表示します。

本機とパソコンのつなぎかた

パソコンへ画像の取り込みなどをするときは、次の手順で本機とパソコンをつないでください。

1 ACアダプターをハンディカムステーションとコンセントにつなぐ。

2 本機をハンディカムステーションに取り付けて電源を入れる。

3 USBケーブルでハンディカムステーションの(USB)端子とパソコンをつなぐ(26ページ)。

本機の画面に[USB機能選択]画面が表示されます。
画面に表示されるボタンの中から、操作したいものを選びタッチする。

ちょっと一言

- [USB機能選択]画面が表示されないときは、(ホーム)→(その他の機能)→[パソコン接続]をタッチして表示させてください。

推奨するUSBケーブルのつなぎかた

本機を正しく動作させるためには、次のようにつないでください。

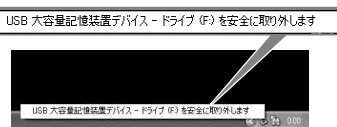
- パソコンのUSB端子にUSBケーブルでつないでいるハンディカムステーションをつなぎ、他の端子には何もつながない。
- USBキーボードとマウスが標準でついているパソコンの場合、キーボードをUSB端子につないだ状態で、ハンディカムステーションをUSBケーブルで別のUSB端子につなぐ。

ご注意

- 1台のパソコンに複数のUSB機器をつないだ場合の動作は保証していません。
- USBケーブルは必ずUSB端子につないでください。キーボードやUSBハブを経由してつないでいる場合の動作は保証していません。

USBケーブルをはずすには

① パソコン画面の右下にあるタスクトレイの中の、[ハードウェアの安全な取り外し]アイコンをクリックする。

② [USB大容量記憶装置デバイスを安全に取り外します]をクリックする。

③ [OK]をクリックする(Windows 2000のみ)。

④ 本機の画面上の[終了]をタッチする。

⑤ 本機の画面上の[はい]をタッチする。

⑥ USBケーブルをパソコンから抜く。

ご注意

- 本機のアクセスランプが点灯中はUSBケーブルを抜かないでください。
- 本機の電源を切るときは、上記の手順に従ってUSBケーブルを抜いてから電源を切ってください。
- 正しい手順でUSBケーブルをはずさないと、本機のハードディスク、または"メモリースティック デュオ"内のファイルが正しく更新されない場合があります。また、本機のハードディスク、または"メモリースティック デュオ"の故障の原因になります。

故障かな？と思ったら

修理に出す前に、もう一度点検してください。それでも正常に動作しないときは、テクニカルインフォメーションセンター（裏表紙）にお問い合わせください。

修理に出される場合のご注意

- 修理内容によってはハードディスクの初期化または交換が必要となることがあります。その場合、ハードディスク内のデータはすべて消去されますので、修理をお受けになる前にハードディスク内のデータを保存（バックアップ）してください（データの保存（バックアップ）について詳しくは、「ハンディカム ハンドブック」（PDF）をご覧ください）。修理によってデータが消去された場合の補償については、ご容赦ください。
- 修理において、不具合症状の発生/改善の確認のために、必要最小限の範囲でハードディスク内のデータを確認させていただく場合があります。ただし、それらのデータをソニー側で複製/保存することはありません。
- 本機の症状については「ハンディカム ハンドブック」（PDF）、パソコンとの接続については「Picture Motion Browser ガイド」をご覧ください。

メニュー項目が灰色で表示され、選択できない。

- 機能によっては、一緒に使えないものがあります。詳しくは「ハンディカム ハンドブック」（PDF）をご覧ください。

電源が入らない。

- 充電されたバッテリーを取り付ける（6ページ）。
- ACアダプターをコンセントに差し込む（6ページ）。
- 本機をハンディカムステーションに正しく取り付ける（6ページ）。

電源が入っているのに操作できない。

- 電源を入れてから撮影が可能になるまで数秒かかりますが、故障ではありません。
- 電源（バッテリーまたはACアダプターの電源コード）を取りはずし、約1分後に電源を取り付け直す。それでも操作できないときは、RESET（リセット）ボタン（16ページ）を先のとがったもので押す（すべての設定が解除される）。
- 本機の温度が著しく高くなっている。電源を切り、涼しい場所でしばらく放置する。
- 本機の温度が著しく低くなっている。電源を入れた状態でしばらく放置する。それでも操作できないときは一度電源を切り、暖かい場所に移動してしばらくしてから電源を入れる。

ボタンが操作できない。

- シンプル操作中は、使えるボタン/機能が限られます。シンプル操作を解除する。シンプル操作について詳しくは、「ハンディカム ハンドブック」（PDF）をご覧ください。

本機があたたかくなる。

- 長時間電源を入れたままにしたためで、故障ではありません。

電源が途中で切れる。

- お買い上げ時の設定では、操作しない状態が約5分以上続くと、自動的に電源が切れる（自動電源オフ）。[自動電源オフ]の設定を変更するか、もう一度電源を入れる、またはACアダプターを使用する。
- バッテリーを充電する（6ページ）。

スタート/ストップボタンやフォトボタンを押しても撮影できない。

- 再生画面になっている。電源スイッチをずらして、（動画）または（静止画）ランプを点灯させる（8ページ）。
- 直前に撮影した画像をハードディスクに書き込んでいる。書き込んでいる間は、新たに撮影できません。
- 本機のハードディスクの空き容量がない。不要な画像を削除する（22ページ）。

- 動画のシーン数や静止画の枚数が本機で撮影できる上限を超えている。不要な画像を削除する（22ページ）。

録画が止まる。

- 本機の温度が著しく高い、または低い。電源を切り、涼しい場所/暖かい場所にしばらく放置する。

「Picture Motion Browser」がインストールできない

- パソコンの環境が対応しているか確認してください。
- 正しい手順でインストールしてください（25ページ）。

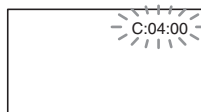
「Picture Motion Browser」が正しく動作しない

- 「Picture Motion Browser」を終了し、パソコンを再起動する。

本機がパソコンに認識されない

- 「Picture Motion Browser」をインストールする（25ページ）。
- キーボード、マウス、本機以外で、パソコンのUSB端子につながれているほかの機器を取りはずす。
- パソコンとハンディカムステーションからUSBケーブルを抜き、パソコンを再起動させてから、正しい手順（27ページ）でもう一度パソコンとハンディカムステーションをつなぐ。
- パソコンのメディア監視ツールが起動していることを確認してください。メディア監視ツールについて詳しくは、「Picture Motion Browser ガイド」をご覧ください。

自己診断表示/警告表示

液晶画面またはファインダーに、次のように表示されます。
お客様自身で対応できる場合でも、2、3回繰り返しても正常に戻らないときは、テクニカルインフォメーションセンター（裏表紙）にお問い合わせください。

C:（またはE:）□□:□□（自己診断表示）

C:04:□□

- “インフォリチウム”バッテリーHシリーズ以外のバッテリーが使われている。必ず“インフォリチウム”バッテリーHシリーズを使う（6ページ）。
- ACアダプターのDCプラグをハンディカムステーションまたは本機のDC IN端子にしっかりつなぐ（6ページ）。

C:13:□□ / C:32:□□

- 電源をいったん取りはずし、取り付け直してからもう1度操作し直す。

E:20:□□ / E:31:□□ / E:61:□□ / E:62:□□ / E:91:□□ / E:94:□□

- 修理が必要なため、テクニカルインフォメーションセンター（裏表紙）にご連絡いただき、Eから始まる数字すべてをお知らせください。

101-0001（ファイル関連の警告）

遅い点滅

- ファイルが壊れている。
- 扱えないファイル。

（本機のハードディスクに関する警告）*

速い点滅

- 本機のハードディスクドライブに異常が発生した可能性がある。

（本機のハードディスクに関する警告）*

速い点滅

- 本機のハードディスクドライブの容量がいっぱいである。
- 本機のハードディスクドライブに異常が発生した可能性がある。

（バッテリー残量に関する警告）

遅い点滅

- バッテリー残量が少ない。
- 使用状況や環境、バッテリーパックによっては、バッテリー残量が約20分程でも警告表示が点滅することがある。

（温度の上昇関連の警告）

遅い点滅

- 本機の温度が上昇中である。
  電源を切り、涼しい場所でしばらく放置する。

速い点滅*

- 本機の温度が著しく上昇している。
  電源を切り、涼しい場所でしばらく放置する。

（温度の低下関連の警告）*

速い点滅

- 本機の温度が著しく低下している。
  本機を暖める。

（"メモリースティック デュオ"関連の警告）

- "メモリースティック デュオ"が入っていない（11ページ）。

（"メモリースティック デュオ"初期化関連の警告）*

- "メモリースティック デュオ"が壊れている。
- "メモリースティック デュオ"が正しく初期化されていない。

（非対応"メモリースティック デュオ"関連の警告）*

- 本機では使えない"メモリースティック デュオ"を入れた。

（"メモリースティック デュオ"誤消去防止に関する警告）*

- "メモリースティック デュオ"が誤消去防止状態になっている。
- 他機でアクセスコントロールをかけた"メモリースティック デュオ"を使っている。

（フラッシュ関連の警告）

速い点滅*

- フラッシュに異常がある。

（手ブレ警告）

- 光量不足のため、手ブレが起こりやすい状況になっているので、フラッシュを使う。
- 手ブレが起こりやすくなっているので、本機を両手でしっかりと固定して撮影する。ただし、手ブレマークは消えません。

* 警告表示·お知らせメッセージが出るときに、「操作音」が鳴ります。

取り扱い上のご注意

使用や保管場所について

使用中、保管中にかかわらず、次のような場所に置かないでください。

- 異常に高温、低温または多湿になる場所
  炎天下や熱器具の近くや、夏場の窓を閉め切った自動車内は特に高温になり、放置すると変形したり、故障したりすることがあります。
- 激しい振動や強力な磁気のある場所
  故障の原因になります。
- 強力な電波を出す場所や放射線のある場所
  正しく撮影できないことがあります。
- TV、ラジオやチューナーの近く
  雑音が入ることがあります。
- 砂地、砂浜などの砂ぼこりの多い場所
  砂がかかると故障の原因になるほか、修理できなくなることもあります。
- 液晶画面やファインダー、レンズが太陽に向いたままとなる場所（窓際や室外など）
  液晶画面やファインダー内部を傷めます。

■ 長時間使用しないときは

- 本機の性能を維持するために定期的に電源を3分間入れ、撮影および再生を行ってください。
- バッテリーは使い切ってから保管してください。

液晶画面について

- 液晶画面を強く押さないでください。画面にムラが出たり、液晶画面の故障の原因になります。
- 寒い場所でお使いになると、画像が尾を引いて見えることがありますが、異常ではありません。
- 使用中に液晶画面のまわりが熱くなりますが、故障ではありません。

■ お手入れ

液晶画面に指紋やゴミが付いて汚れたときは、柔らかい布などを使ってきれいにすることをおすすめします。
別売りの液晶クリーニングキットを使うときは、クリーニングリキッドを直接液晶パネルにかけず、必ずクリーニングペーパーに染み込ませて使ってください。

本機表面のお手入れについて

- 汚れのひどいときは、水やぬるま湯を少し含ませた柔らかい布で軽く拭いた後、からぶきします。
- 本機の表面が変質したり塗装がはげたりすることがあるので、以下は避けてください。
  – シンナー、ベンジン、アルコール、化学ぞうきん、虫除け、殺虫剤、日焼け止めのような化学薬品類
  – 上記が手に付いたまま本機を扱う
  – ゴムやビニール製品との長時間接触

カメラレンズのお手入れと保管について

- レンズ面に指紋などが付いたときや、高温多湿の場所や海岸など塩の影響を受ける環境で使ったときは、必ず柔らかい布などでレンズの表面をきれいに拭いてください。
- 風通しの良い、ゴミやほこりの少ない場所に保管してください。
- カビの発生を防ぐために、上記のお手入れは定期的に行ってください。また本機を良好な状態で長期にわたって使っていただくためにも、月に1回程度、本機の電源を入れて操作することをおすすめします。

内蔵の充電式電池について

本機は日時や各種の設定を電源の入/切と関係なく保持するために、充電式電池を内蔵しています。充電式電池は本機を使っている限り常に充電されていますが、使う時間が短いと徐々に放電し、**3か月近く**まったく使わないと完全に放電してしまいます。充電してから使ってください。
ただし、充電式電池が充電されていない場合でも、日時を記録しないのであれば本機を使えます。

■ 充電方法

本機を付属のACアダプターを使ってコンセントにつなぐか、充電されたバッテリーを取り付け、電源スイッチを「切（充電）」にして24時間以上放置する。

主な仕様

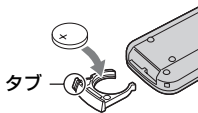
“メモリースティック デュオ”を廃棄/譲渡するときのご注意

本機やパソコンの機能による「フォーマット」や「削除」では、“メモリースティック デュオ”内のデータは完全には消去されないことがあります。“メモリースティック デュオ”を譲渡するときは、パソコンのデータ消去用ソフトなどを使ってデータを完全に消去することをおすすめします。また“メモリースティック デュオ”を廃棄するときは、“メモリースティック デュオ”本体を物理的に破壊することをおすすめします。

リモコンの電池を交換するには

① タブを内側に押し込みながら、溝に爪をかけて電池ケースを引き出す。

② ＋面を上にして新しい電池を入れる。

③ 電池ケースを「カチッ」というまで差し込む。

- リモコンには、ボタン型リチウム電池（CR2025）が内蔵されています。CR2025以外の電池を使用しないでください。

システム

映像圧縮方式
AVCHD（HD）/MPEG2（SD）/JPEG（静止画）

音声圧縮方式
Dolby Digital2/5.1ch
ドルビーデジタル5.1クリエーター搭載

映像信号
NTSCカラー、EIA標準方式
1080/60i方式

ハードディスク
HDR-SR7
60 GB
HDR-SR8
100 GB
容量は、1GBを10億バイトで計算した場合の数値です。また管理用ファイルなどを含むため、実際使用できる容量は若干減少する場合があります。

動画記録方式
動画HD：AVCHD 1080/60i
動画SD：MPEG2-PS

静止画記録方式
Exif Ver.2.2*

ファインダー
電子ファインダー：カラー

撮像素子
6.3 mm（1/2.9型）CMOSセンサー
記録画素数：静止画時最大610万画素相当**
（2 848×2 136）（4:3時）
総画素数：約320万画素
動画時有効画素数（16:9モード）：約228万画素
動画時有効画素数（4:3モード）：約171万画素
静止画時有効画素数（16:9モード）：約228万画素
静止画時有効画素数（4:3モード）：約304万画素

ズームレンズ
カール ツァイス　バリオゾナーT∗
10倍（光学）、20倍（デジタル）
フィルター径37 mm
F1.8～2.9
f=5.4～54 mm
35mmカメラ換算では動画撮影時
40～400 mm（16:9モード）
（4:3モードでは49～490 mm）

静止画撮影時:
40～400 mm(16:9モード)
(4:3モードでは37～370 mm)

色温度切り換え

[オート]、[ワンプッシュ]、[屋内](3 200 K)、[屋外](5 800 K)

最低被写体照度

5 lx(ルクス)([オートスロシャッタ][入]、[シャッタースピード]1/30秒)
0 lx(ルクス)(NightShot時)

* (社)電子情報技術産業協会(JEITA)にて制定された、撮影情報などの付帯情報を追加することができる静止画用のファイルフォーマット。

** ソニー独自のクリアビッドCMOSセンサーの画素配列と画像処理システム新エンハンスドイメージングプロセッサーにより、静止画は表記の記録サイズを実現しています。

入/出力端子

A/V OUT端子

10ピン特殊コネクター
映像:1 Vp-p、75 Ω
Y出力:1 Vp-p、75 Ω
C出力:0.286 Vp-p、75 Ω
音声:327 mV(47 kΩ負荷時)、出力インピーダンス2.2 kΩ以下

COMPONENT OUT端子

D1/D3映像:コンポーネントビデオ端子
Y:1 Vp-p、75 Ω
P_B/P_R、C_B/C_R:±350 mV、75 Ω

HDMI OUT端子

HDMIタイプCミニ端子

ヘッドホン端子

ステレオミニジャック(ø 3.5 mm)

MIC入力端子

ステレオミニジャック(ø 3.5 mm)

REMOTE端子

ステレオミニミニジャック(ø 2.5 mm)

液晶画面

画面サイズ

6.7 cm(2.7型、アスペクト比16:9)

総ドット数

211 200ドット
横960×縦220

電源部、その他

電源電圧

バッテリー端子入力 6.8 V/7.2 V
DC端子入力 8.4 V

消費電力

ファインダー使用時、明るさ標準:
HD:4.5 W SD:4.0 W
液晶画面使用時、明るさ標準:
HD:4.7 W SD:4.2 W

動作温度

0 ℃～+40 ℃

保存温度

−20 ℃～+60 ℃

外形寸法

75×81×144 mm
(突起部を含む)
(幅×高さ×奥行き)
75×81×149 mm
(突起部を含む、付属バッテリーNP-FH60装着状態)
(幅×高さ×奥行き)

本体質量

約530 g(本体のみ)

撮影時総質量

約610 g(バッテリーNP-FH60含む。)

付属品

5ページをご覧ください。

ハンディカムステーション DCRA-C180

入/出力端子

A/V OUT端子

10ピン特殊コネクター
映像:1 Vp-p、75 Ω
Y出力:1 Vp-p、75 Ω
C出力:0.286 Vp-p、75 Ω
音声:327 mV(47 kΩ負荷時)、出力インピーダンス2.2 kΩ以下

COMPONENT OUT端子

D1/D3映像:コンポーネントビデオ端子
Y:1 Vp-p、75 Ω
P_B/P_R、C_B/C_R:±350 mV、75 Ω

USB端子

mini-B

ACアダプター　AC-L200/L200B

電源

AC 100 V～240 V、50/60 Hz

消費電力

18 W

定格出力

DC 8.4 V *

動作温度

0 ℃～+40 ℃

保存温度

－20 ℃～+60 ℃

外形寸法

約 48×29×81 mm（最大突起部をのぞく）
（幅×高さ×奥行き）

質量

約170 g（本体のみ）

* その他の仕様については AC アダプターのラベルをご覧ください。

リチャージャブルバッテリーパック NP-FH60

最大電圧

DC 8.4 V

公称電圧

DC 7.2 V

容量

7.2 Wh（1 000 mAh）

最大外形寸法

約31.8×33.3×45.0 mm
（幅×高さ×奥行き）

質量

約80 g

使用温度

0 ℃～+40 ℃

使用電池

Li-ion

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

- 本機はドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。

保証書とアフターサービス

保証書

この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。所定事項の記入と記載内容をお確かめの上、大切に保管してください。

このデジタルビデオカメラレコーダーは国内仕様です。海外で万一、事故、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスとその費用については、ご容赦ください。

アフターサービス

■ 調子が悪いときはまずチェックを

「故障かな？と思ったら」の項を参考にして故障かどうかお調べください。

■ それでも具合の悪いときは

テクニカルインフォメーションセンター（裏表紙）にお問い合わせください。

■ 保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

■ 保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

■ 修理に出される前に

修理に出される場合のご注意（29ページ）をご覧ください。

■ 部品の保有期間について

当社はデジタルビデオカメラレコーダーの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後8年間保有しています。この部品保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、テクニカルインフォメーションセンターにお問い合わせください。

■ 部品の交換について

この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

安全のために

→2ページもあわせてお読みください。

⚠警告 火災 感電

下記の注意事項を守らないと、**火災、大けが**や**死亡**にいたる危害が発生することがあります。

分解や改造をしない

分解禁止

火災や感電の原因となります。内部点検や修理はテクニカルインフォメーションセンターにご依頼ください。

内部に水や異物（金属類や燃えやすい物など）を入れない

禁止

火災、感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電池を取りはずしてください。ACアダプターや充電器などもコンセントから抜いて、テクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。

運転中に使用しない

禁止

自動車、オートバイなどの運転をしながら、撮影、再生をしたり、液晶画面を見ることは絶対おやめください。交通事故の原因となります。

撮影時は周囲の状況に注意をはらう

禁止

周囲の状況を把握しないまま、撮影を行わないでください。事故やけがなどの原因となります。

指定以外の電池、ACアダプター、充電器を使わない

禁止

火災やけがの原因となることがあります。

機器本体や付属品、記録メディアは乳幼児の手の届く場所に置かない

禁止

電池などの付属品や“メモリースティック”などを飲み込むおそれがあります。乳幼児の手の届かない場所に置き、お子様がさわらぬようご注意ください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

電池やショルダーベルト、ストラップを正しく取り付ける

指示

正しく取り付けないと、落下によりけがの原因となることがあります。

また、ベルトやストラップに傷がないか使用前に確認してください。

電源コードを傷つけない

禁止

熱器具に近づけたり、加熱したり、加工したりすると火災や感電の原因となります。また、電源コードを抜くときは、コードに損傷を与えないように必ずプラグを持って抜いてください。

フラッシュ、ビデオライトご使用上の注意

禁止

- 点灯したまま放置しない。
- 使用中に紙や布などの燃えやすいものを近づけない。
- ビデオライトの点灯中および消灯直後のランプに触らない。
- 指定以外のランプを使用しない。火災ややけどの原因になります。
- 可燃性/爆発性ガスのある場所でフラッシュまたは、ビデオライトを使用しない。

フラッシュ、ビデオライトなどの撮影補助光を至近距離で人に向けない

禁止

- 至近距離で使用すると視力障害を起こす可能性があります。特に乳幼児を撮影するときは、1m以上はなれてください。
- 運転者に向かって使用すると、目がくらみ、事故を起こす原因となります。

⚠注意

下記の注意事項を守らないと、**けが**や**財産に損害**を与えることがあります。

水滴のかかる場所など湿気の多い場所やほこり、油煙、湯気の多い場所では使わない

火災や感電の原因になることがあります。

ぬれた手で使用しない

感電の原因になることがあります。

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いた所に置いたり、不安定な状態で三脚を設置すると、製品が落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

コード類は正しく配置する

電源コードやパソコン接続ケーブル、AV接続ケーブルなどは、足に引っ掛けると製品の落下や転倒などによりけがの原因となることがあるため、充分注意して接続・配置してください。

通電中のACアダプター、充電器、充電中のバッテリーや製品に長時間ふれない

長時間皮膚が触れたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。

使用中は機器を布で覆ったりしない

熱がこもってケースが変形したり、火災、感電の原因となることがあります。

長期間使用しないときは、電源をはずす

長期間使用しないときは、電源プラグをコンセントからはずしたり、電池を本体からはずして保管してください。火災の原因となることがあります。

フラッシュの発光部を手でさわらない

フラッシュ発光部を手で覆ったまま発光しないでください。発光後も発光部に手を触れないでください。やけどの原因となります。

レンズや液晶画面に衝撃を与えない

レンズや液晶画面はガラス製のため、強い衝撃を与えると割れて、けがの原因となることがあります。

電池や付属品、記録メディア、アクセサリーなどを取りはずすときは、手をそえる

電池や"メモリースティック"などが飛び出すことがあり、けがの原因となることがあります。

ヘッドホンを使用するような場合、大音量で長時間つづけて聞かない

耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。呼びかけられたら返事ができるくらいの音量で聞きましょう。

⚠危険 電池についての安全上のご注意とお願い

漏液、発熱、発火、破裂、誤飲による大けがややけど、火災などを避けるため、下記の注意事項をよくお読みください。

⚠危険

- バッテリーパックは指定された充電器以外で充電しない。
- 電池を分解しない、火の中へ入れない、電子レンジやオーブンで加熱しない。
- 電池を火のそばや炎天下、高温になった車の中などに放置しない。このような場所で充電しない。
- 電池をコインやヘアーピンなどの金属類と一緒に携帯、保管しない。
- 電池を水・海水・牛乳・清涼飲料水・石鹸水などの液体で濡らさない。濡れた電池を充電したり、使用したりしない。

禁止

- 電池をハンマーなどでたたいたり、踏みつけたり、落下させたりするなどの衝撃や力を与えない。
- ボタン電池は充電しないでください。

禁止

- 電池を使い切ったときや、長期間使用しない場合は機器から取りはずしておく。

指示

お願い

リチウムイオン電池はリサイクルできます。不要になったこれらの電池は、金属部分にセロハンテープなどの絶縁テープを貼って充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

リチウムイオン電池

充電式電池の収集・リサイクルおよびリサイクル協力店については

有限責任中間法人JBRCホームページ
http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html
を参照してください。

■ 製品についてのサポートのご案内

ホームページで調べる

ハンディカムの最新サポート情報
（製品に関するQ&A、パソコンとの接続方法など）
http://www.sony.co.jp/cam/support/

ハンディカムホームページ
http://www.sony.co.jp/cam
ハンディカムの最新情報、撮影テクニック、アクセサリーなどに関する情報を掲載しています。

メモリースティック対応表
http://www.sony.co.jp/mstaiou
使用可能な“メモリースティック”を確認することができます。

付属ソフトウェア（Picture Motion Browser）のサポート情報
http://www.sony.co.jp/support-disoft/

電話で問い合わせる（おかけ間違いにご注意ください）

テクニカルインフォメーションセンター
●ナビダイヤル 0570-00-0066
（全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます）
●携帯電話・PHSでのご利用は 0466-38-0253
（ナビダイヤルが使用できない場合はこちらをご利用ください）
受付時間: 月～金曜日　午前9時～午後8時
土、日曜日、祝日　午前9時～午後5時
お電話の際は、本機をお手元にご用意ください。

修理のお申し込み

指定宅配便での修理品のお引き取りから修理後の製品のお届けまでを一括して行います。テクニカルインフォメーションセンターへお電話いただくか、WEBサイトをご覧ください。
http://www.sony.co.jp/di-repair/

■ カスタマー登録のご案内

カスタマー登録していただくと、安心、便利な各種サポートが受けられます。
詳しくは、同梱のチラシ「カスタマー登録のご案内」もしくはご登録WEBサイトをご覧ください。
http://www.sony.co.jp/di-regi/

登録後は登録者専用お問い合わせ窓口をご利用いただけます。
詳しくは下記のURLをご覧ください。
http://www.sony.co.jp/cam/contact/

ソニー株式会社　〒108-0075　東京都港区港南1-7-1　　http://www.sony.co.jp/

この説明書は、古紙70%以上の再生紙と、
VOC（揮発性有機化合物）ゼロ植物油型インキを使用しています。

Printed in Japan

SONY
HANDYCAM
HDR-SR7/SR8